

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室『クラ・ゼミ』札幌菊水校		
○保護者評価実施期間	2025年10月8日 ～ 2025年12月1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者ご家族様から、お子さんへの理解度やお子さんの個性と合致した専門性の高い支援が行われていると感じていただけている。	・利用開始前や利用継続の計画作成の際に保護者様からお話する時間を頂戴し、ご希望に沿った支援計画を作成できるようにしている。 ・職員同士で日々の支援内容やお子さんの様子を共有し、お子さんの成長に合わせた課題を調整しながら支援を提供している。	・職員1人ひとりの個性や価値観を活かし、職員全体で方向性をすり合わせながら支援の質を高めていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者ご家族様に対して、お子さんへの直接支援以外の校舎全体の取り組み内容に関する情報発信が足りない。 例：家族間の交流イベント 関係機関連携 避難訓練や研修の実施	・送迎利用のお子さんが多く、校舎に来所される保護者様が少ない。 ・幼稚園や保育所等の機関との連携の必要性を保護者様に十分お伝えできていない。 ・HPやLINEによる情報発信が足りない。	・保護者様と一緒に来所していただけるようなイベントの開催や事前連絡を行ない、まずは校舎に足を運んでいただく機会を増やす。 ・送迎時に幼稚園や保育所等の先生と質の高い情報共有を行なうよう努力する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室『クラ・ゼミ』札幌菊水校

公表日 2026 年 1 月 16 日

利用児童数 11

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	0	0	1		児童発達支援ガイドラインにおける指標として、子ども一人当たり2.47㎡という参考値があります。当事業所の床面積は、重要事項説明書に記載の通り計86.75㎡です。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	1	0	・異動や退職が多いという印象は有。 ・希望の時間帯に入れないのは人数が少ないからなのかなと思いました。	・今年度は2回人事異動がありました。 ・行政で定められた配置基準は、10名定員で指導員最低2人となっており、菊水校では現在常時3人以上出勤するよう調整しております。個別支援のため同時期利用の人数が限られております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2	0	0		備置物件のため完全なバリアフリー化は難しいですが、書立やテーピングにより活動場所・待機場所・職員室との区分けを行ない、構造化を図っています。また、利用者様の安全確保のため必要に応じて職員が階段昇降に付き添って対応します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	0		職員で当番を決めて毎日清掃・消毒・整理整頓を行なっております。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1	0	0	程よくやりごたえのある学習内容です。本人に気がない時も難度を下げたり、ゲーム性を持たせたり、その辺の誘導がすごく上手で感心しています	お子さんのことを理解するためには保護者様や関係機関との連携が欠かせません。今後も面談等お時間をいただきながらご家庭と二人三脚で支援を行なってまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	0	0	0		支援プログラムはHPまたは事業所の本棚のファイルでご覧いただけます。ご自由にご覧下さい。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		保護者様からのご意見を基に支援計画を検討しております。いつも6か月毎の面談や年1回の情報シート提出などご協力ありがとうございます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	1	0		支援計画にはすべての項目が含まれております。幼稚園・保育所等との連携や移行支援は保護者様からの希望に応じて対応しておりますのでご相談ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0		今後もお子さん1人ひとりに合わせた支援を提供してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	0	0		指導員1人ひとり、支援計画に沿って創意工夫を凝らして支援内容を組み立てております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	2	2		個別支援を提供しているため地域で他のお子さんとの関わる機会を提供しておりません。同時期利用のお子さん同士での交流を行なっております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		お気づきのことがございましたらいつでもお気軽にお問い合わせください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0		いつも期間内での計画作成・同意にご協力いただきありがとうございます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	1		行政から交付された保護者向け研修などの情報提供を校舎内に掲示していることがあります。是非ご覧ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0		いつも支援後のフィードバックにお時間をいただきありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	2		家族支援として保護者様からの希望に応じて対応しておりますのでいつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	1	職員間での共有が出来ていると思います	お子さん1人ひとりに個性があるように職員の経歴や価値観もそれぞれ異なります。そのため職員間の連携を強化し、職員もお子さんへの支援を通して日々成長させていただいております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	0	3	イベントに参加させて貰っています	今年度5月に初めて保護者様の交流「ママカフェ」を設定したのですが、当日参加の方が来られなくなり未開催となりました。今後も機会を設けますので是非ご参加ください。また、きょうだい児参加型のイベントにつきましては、受け入れ可能人数を踏まえながら機会の拡大を検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	1		家族支援・関係機関連携等、希望に応じて対応しておりますのでいつでもご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	1		電話、LINE、連絡帳を併用し情報伝達に努めております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	2		HPやLINE、校舎内掲示物などでお知らせしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	1		鍵付き書庫にて書類保管をしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	1		各種マニュアルについては校舎内の本棚にあるファイルでご覧いただけます。また、避難訓練の実施はHPにてお知らせしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	3		職員の研修として行なう訓練と、支援の中でお子さんと一緒に行なう訓練があります。訓練日時の指定によりすべての方への周知が足りていない課題があると考えております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	0	2		安全計画は校舎内の本棚にあるファイルでご覧いただけます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	2		事業所内で怪我が起きた際は、LINEや連絡帳等で保護者様に、送迎時に保育所の先生にお伝えしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	2	0	0	本来の車での送迎が無くなってしまったのでそこだけは残念に思う。冬は渋滞するので自分の仕事に向かうまでがタイトなスケジュールでヒヤヒヤとします	未就学のお子さんには母子分離を目的とした送迎を継続しております。保護者様への情報伝達・共有も支援の一環と考え、送迎は縮小・終了を進めております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室『クラ・ゼミ』札幌菊水校		2026年 1月 16日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員がオーバーしないように利用可能人数を確認しながら追加・振替・時間変更の調整を行なっている。	全ての利用者様の希望に沿うことはできないので、丁寧な説明を行ない協力・理解を得ていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	衝立やテーピングにより活動場所・待機場所・職員室との区分けを行ない、構造化を図っている。また、利用者様の安全確保のため必要に応じて職員が階段昇降に付き添って対応している。	賃貸物件のためバリアフリー化は不可となっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に上長と自身の業務について振り返り、次回への目標設定を行なう機会がある。また、校舎内でミーティングを行ない改善策を考えている。	業務改善について意見交換する機会や目標設定の機会はあるものの、実行度の個人差や振り返りの機会が不足している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	本社による内部監査を年3回実施し、業務改善指導を受けている。	第三者評価は義務化ではないため、行われていない。今度義務化の動きがあれば対応していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼の場で支援担当や送迎の割り当てについて確認、業務上の伝達事項を共有している。	個別支援のため、必ずしもすべての支援について確認しているわけではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	終業時間までに余裕がある際は、共有の時間を設けている。少なくとも翌支援日までには前回支援の引継ぎを行なっている。	終業時間と支援終了時間が重なるため、毎日必ず振り返りがあるわけではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関連携について支援計画にも明記し、希望があれば対応できる体制を整えている。	関係機関連携の重要性を十分に伝えられておらず、希望が少ない。こちらから依頼して理解を得ていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	移行支援について支援計画にも明記し、希望があれば対応できる体制を整えている。	移行支援の必要性を十分に周知できていないためか、対象者がいなかった。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	同上	同上
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			年1回訪問指導を受けている。また、今年度は児童発達支援連合協議会への参加や児童発達支援センターが運営する研修会に参加した。	全職員が参加しているわけではない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	事業所の中で同時間の利用者同士や利用者きょうだい児と合同で活動するイベントを開催している。	個別支援のため、地域に出て他のこどもと活動する機会は作っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	家族支援については支援計画にも明記し希望に応じて対応を行なっている。また、行政から交付された保護者向け研修などの情報提供を校舎内に掲示している。	家族支援に対応できる職員に限られているため、職員自身の研鑽も必要。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者向けのイベント（ママカフェ）を企画した。またきょうだい児が参加できるイベントを年数回開催している。	保護者向けイベントの参加者がおらず、未開催となった。今後も希望者を募りながら実施を試みる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	体験としてイベントのチラシを事業所内外に掲示・配布している。	実際にチラシを見た問合せや参加者はいない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食品を扱うイベントの際は事前に必ず保護者様に確認を取っている。また、年1回基本情報シートでアレルギーの有無を確認している。	日常的に食品を扱う事業所ではないため「医師の指示書」提出は依頼していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			